

## IV 人権教育

# 『であい ふれあい つながりあい』

～久留米市田主丸地域「人権のまちづくり」～

久留米市・田主丸地域「人権のまちづくり」推進協議会事務局 竹上克己

### 1、はじめに

田主丸町は2005（平成17）年2月の合併（久留米市、北野町、城島町、三潞町）により、久留米市の最も東に位置することになりました。

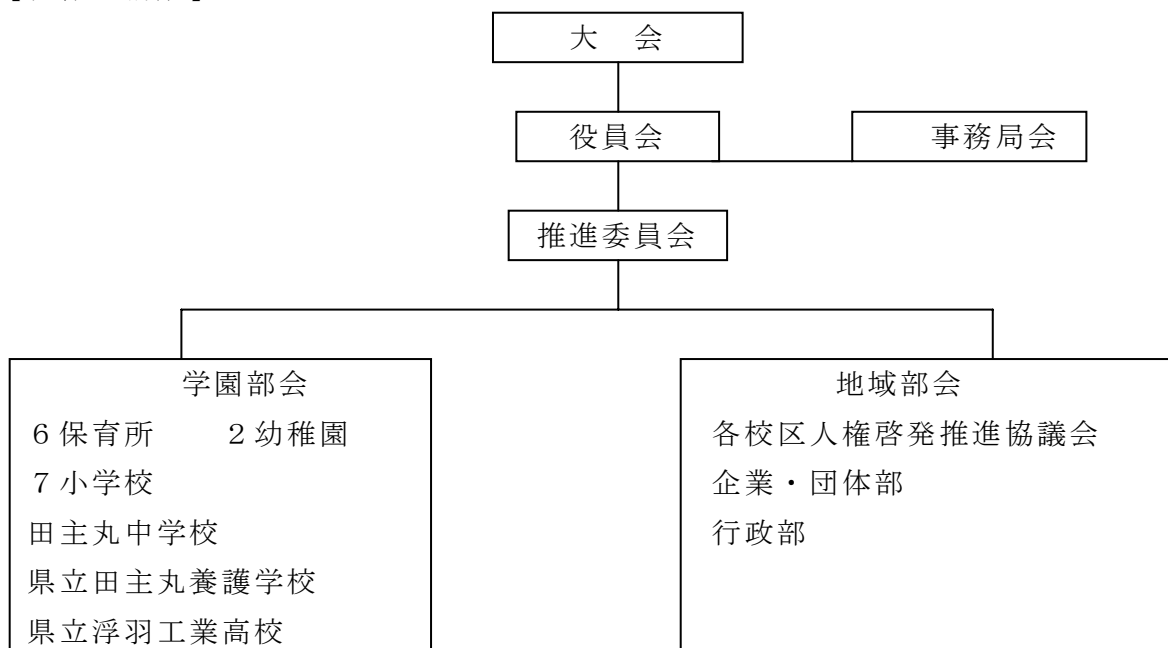
久留米市の人口は、30万3千人で、昨年4月に中核市となりました。そのうち田主丸は人口約2万1千人（5,700世帯）で南に耳納連山、北の筑後川に挟まれた自然豊かな農業を主産業とする地域です。最近では、兼業農家が増えていますが、米や野菜をはじめ、果物や植木・苗木の生産は全国的にも有名です。そういった地域の中に6つの保育所と2つの幼稚園、7つの小学校があり、ここで学んだ子どもたちは田主丸中学校に入学してきます。また校区内には、県立の浮羽工業高等学校や県立田主丸養護学校があります。

地域の中には、昔ながらの深い助け合いの関係も見られますが、偏見や世間体を気にした見方や間違った部落認識、ねたみ差別意識もあり、人と人とのつながりが表面的で浅い関係になってきているのではないかという課題もあります。

そうした状況の中で、部落問題をはじめとするあらゆる差別を解消するために、田主丸地域「人権のまちづくり」推進協議会を設立しました。

### 2、田主丸地域「人権のまちづくり」推進協議会

#### 【組織の構成】



## 【人権のまちづくりの目的】

○学校と地域の有機的な連携を図り、中学校区内に住む子どもから大人まで、すべての人権意識の確立をめざす。（地域の教育力と学校の教育力の結合による人権尊重のまちづくり）

## 【活動の重点目標】

- (1) 田主丸地域の人々を対象とした人権啓発事業の推進
- (2) 田主丸地域の子どもたちの学力保障と人権学習の推進
- (3) 地域、学校内及び相互間の交流事業の推進

## 3、地域部会の取り組み

地域部会の目的は、

憲法に定められた基本的人権の尊重の精神に基づいて、部落差別をはじめ、女性差別、障がい者差別、在日外国人差別など、あらゆる差別を無くすために、地域ぐるみで自主的な学習・啓発・実践に努め、すべての住民が安心して暮らせる田主丸地域人権のまちづくりを進めること

## 【構成】

船越校区人権啓発推進協議会、水分校区人権啓発推進協議会  
柴刈校区人権啓発推進協議会、川会校区人権啓発推進協議会  
竹野校区人権啓発推進協議会、水縄校区人権啓発推進協議会  
田主丸校区人権啓発推進協議会  
企業・団体部、行政部

## 【主な活動】

- ① 各小学校区人権啓発推進協議会の啓発活動
- ② 各部会（企業・団体部、行政部）の研修会の実施
- ③ 各校区人推協交流会

各小学校区人権啓発推進協議会では、地域でのつながりと啓発を推進するためそれぞれ試行錯誤しながら取り組んでいます。また、交流会議を開き、互いに活動内容を交流し、成果と課題を共有しながら進めています。

## 4、学園・地域部会の交流事業について

- ① 新任赴任者等職員研修会の開催

田主丸地域に新規採用されたり、赴任した行政や教職員を対象とした人権・同和問題研修会を開催しています。人権のまちづくりの趣旨についても説明を行っています。

- ② 解放学習会（連続人権セミナー）の開催

原則、毎月第1火曜日（19時00分）から、人権・同和問題について各地で人権啓発や研究に携わっておられる方を講師として招いて学習会を開催して

います。校区人推協の研修活動の一つとしても位置づけられるようになってきました。

### ③ 「人権フェスタたぬしまる」の開催

12月人権週間には、「人権フェスタたぬしまる」を開催しています。今年度は、船越校区人権啓発推進協議会から活動報告をしていただき、保育所・幼稚園・学校、婦人会などのステージ発表や人権作文の朗読と映画「橋のない川」の上映会を行いました。

また、各小中学校・養護学校の人権学習の展示を行うとともに、地域の福祉施設のバザーや運動体支部の方々の協力によって、ムラの食文化を紹介する試食会も行いました。



(第7回人権フェスタたぬしまる)

## 5、成果と課題

成果として「人権のまちづくり」推進協議会の設立をとおして、これまでの取り組みを継承できたことです。さらに田主丸地域の人々を対象とした人権啓発事業の推進、田主丸地域の子どもたちの学力保障と人権学習の推進などが連携しながら展開されるようになりました。

合併後、予算等の支援体制が整い、すべての小学校区で人権啓発推進協議会が設立できたことと、それをとおして地域リーダーの存在が明らかになってきたことです。

課題としては、①地域部の人推協間、または他部会との連携・交流を推進すること。②学習の場のひとつである解放学習会や交流の場である人権フェスタたぬしまるなどの企画や運営を工夫し、多くの地域住民の参加を促していく必要がある。③地域にあるサークルやいろいろな立場の方々を取り込んだネットワークをつくり、田主丸地域の「人権のまちづくり」にそれぞれの立場から参画していただき、互いに理解し分かち合う関係づくりをとおして、人権感覚にあふれた地域づくりが必要であると考えています。

### 問合せ先

久留米市田主丸町田主丸770-1【久留米市田主丸総合支所文化スポーツ課】

TEL 0943-74-4000 FAX 0943-73-4030